

### 目次

- 1 高次脳機能障害を学ぼう
- 第2回 記憶障害とは

11月なのに雪が降ってびっくり!



## 高次脳機能障がいを学ぼう

### 第2回 記憶障害とは？

記憶障害というと皆さんは、どのような症状をイメージしますか？

家族や親しい友人の顔や名前がわからなくなったり、聞いたことをすぐに忘れてしまうために同じことを何度も聞いてしまったり、一日の予定が分からなくなって困る、昨日の出来事を覚えていない、嫌なことだけすっかり忘れてしまうなど、記憶障害と言っても様々な種類があります。

高次脳機能障がいにおける記憶障害の場合、「新しい情報を記録(覚える)、保持(覚え続ける)、必要な時に引き出す(思い出す)ことができない状態。病気(受傷)の前の記憶は比較的保たれているが、病気(受傷)の直前直後のことが思い出せず、病気の後の新しい記憶がなかなか保持されない」とされています。

重度の障害でなければ、昔のことやそれまでに獲得した技術や知識が保たれていることが多いので、例えば、長年やってきた自動車の運転や仕事はできるけど、病気(けが)の後に、新しい仕事を始めた場合、職場までの道のりがなかなか覚えられなかったり、初めて行う仕事の手順が覚えられなくて困ることがあります。また、会話でも昔からやってきた仕事や趣味の話では盛り上がるけど、「昨日何食べた？」という話になると覚えていないのでなかなか話せないということがあります。先日放送されたテレビ番組でも、当事者が困ることの第一位には記憶障害が挙げられていました。新しいことが覚えられないことが生活に与える影響は大きいようです。

他にも記憶障害の具体的な症状をいくつか挙げると・・・

- ① 仕事中に自分がどこまで作業をしたかを見失ってしまう
- ② お使いを頼んでも何を買いにいけばいいか忘れてしまう
- ③ 約束したことは覚えていても、待ち合わせの時間がわからない
- ④ 一つ一つの作業はできるが手順が覚えられず、スムーズに仕事ができない etc...



訓練で能力を向上させたり、工夫することで不足している力を補うことも可能ですが、本人に合わない方法ではなかなかうまくいかないこともあります。そのため、病気やけがをしたことでどのような症状が現れたか、そしてどのような能力が残っているのかなど、現在の本人の能力を確認することが支援の第一歩となります。その上で、適切な支援方法について検討することが有効となります。

次回は注意障害についてお話しします。